

## 桜並木整備事業について

建設部 地域計画課

### 1. 社会実験の趣旨

- ・地域からの提言等に描かれている将来像の実現には、1車線化に向けた検証が必要である。
- ・リニア駅からのアクセス道路である県道市場桜町線と繋がる並木通りを、1車線化及び中央分離帯開口部の閉鎖をしても支障がないか交通の流れなどを検証する。

### 2. 社会実験の概要

- (1) 期間 平成30年3月20日から平成30年4月20日（1ヶ月間）
- (2) 内容 バリケードによる1車線化及び中央分離帯開口部の閉鎖（7箇所）
- (3) 検証事項
  - ・社会実験実施前、実施中、実施1ヶ月後の交通量及び速度抑制効果の検証
  - ・桜開花時の交通量及び歩行者動線の状況調査

### 3. 社会実験の結果

- (1) 交通量調査  
車線数を片側2車線から1車線に減少しても支障のない道路区分に該当する。
- (2) 交通実態調査  
道路狭窄部設置及び開口部閉鎖により、速度の最大値低下や歩行者の車両との交錯機会が減少するなど、安全性が向上する。
- (3) 道路ネットワーク  
環状道路の整備により地域間の通過交通のためだけの道路ではなく、生活道路としての視点で計画の検討が可能。
- (4) 交通量推計  
周辺の道路整備が進んでも、交通量の大幅な増加が見込まれないことを踏まえた道路構造の検討が可能。

上記の結果により、桜並木整備計画（素案）及び地区基本構想等に沿った整備が可能であることを関係地域に報告した。

### 4. 今後の進め方について

社会実験において、1車線化しても交通の流れ等については支障がない結果が得られたことから次のとおり進めていく。

- ①かねてより地域と検討を重ねてきた「桜並木整備計画（素案）」をベースに調査結果やアンケートを加味して地域との協議を行い、今年度末を目途に整備計画を決定する。
- ②令和2年度から整備事業（予備設計）に着手する。

今後のスケジュール

	R1	R2	R3	R4	R5以降
調査結果の公表	●				
整備計画の協議	■				
予備設計		■			
詳細設計			■		
整備工事				→	

5. 整備の概要

